

ご挨拶

私は指揮者の丸山貴夫と申します。

現在、ミラノ国際的オペラアカデミーにて前掲付属のアカデミー指揮コースにて研鑽を積んでいます。

このたび、2021年に「みんなの響け」で助成も頂戴参加したアト・ロコッチのアカデミー出身の、指揮者のダニエーレ・アジマン氏によるマスターコースおよび、アントネッロ・アレマンディ氏のマスターコースに参加するための費用を返すべく、〈個別型〉に挑戦いたしました。



プロジェクト

- 企画名：イタリアでのイタリアオペラの総合的実践と研修（企画コード：2201）
- 目標金額：600,000円
- 寄付募集期間：2022年5月16日（月）～2022年6月16日（木）
- ご寄付については[こちら](#)



助成金の使い道

1.ダニエーレ・アジマン氏のマスターコースへの参加（イタリア／サルツマジョーレ）

4回のアカデミーは3月から9月までの半年間、毎月サベキを1作品体験することにより、イタリアオペラのヴェルディまでの広範囲を学ぶことを目的としています。同アカデミー内ではオペラピアニスト、巻幕、歌手とそれぞれコースがあり、学生からプロの音楽家まで多くの人と関わりながら共にオペラの理解を深めたいとします。9月には締めくくりとして、半月かけてオペラ「フィガロの結婚」をフルオーケストラで上演し、成果発表を行います。

アジマン氏はイタリア各地の劇場で指揮者の指揮者で、イタリアの歴史を知り尽くしている人物です。氏には経験者アト・ロコッチでの研鑽に出会い、実際にレッスンを受けてきました。イタリアオペラを指揮するために必要なことや、その具体的な方法を習得させるような指導をされます。サベキに関してはシンプルで明確な、音楽面では自分が歌手になるよう創造的に歌を覚えることも目標としています。さらに作品の元となる「台本」への理解なくして歌うことはできません。台本への理解を深める過程で作品に対する自分なりの解釈を得られ、あらゆる疑問をクリアにしながらオペラへの理解を深めています。

＜マスターコース スケジュール＞

- 3月「セビリアの理髪師」
- 4月「笑の勉強」
- 5月「タメシモールのルチア」
- 6月「ソルマ」
- 7月 途中経過としてコンサートを開催
- 9月「フィガロの結婚」フルオーケストラにて成果発表として上演
- ※8月下旬～9月初旬にかけては後述のマスターコースへ参加

2.アントネッロ・アレマンディ氏のマスターコースへの参加（イタリア／フィレンツェ）

アレマンディ氏はメトロポリタンオペラなど世界の大劇場で活躍する一筋の指揮者です。本コースへは8月下旬～9月初旬にかけて参加します。

彼の元では前述のアジマン氏の研鑽を踏まえ、自身の成長度合いを確認するとともに、世界レベルの指揮者も前に、自分が現在どのような立ち位置にいるのか客観的に知ることを目的のひとつです。そしてアレマンディ氏が世界の劇場で体験したことも共有しながら、多くのことを学んでいます。

マスターコースの題材は「タメシモールのルチア」、ヴェルディ「レクイエム」となっており、特に「タメシモールのルチア」はアレマンディ氏のコースでも扱うため、大きな成果が出せると確信しています。

さらには本コースの優秀者に選ばれたら、後にプロダクションで行われる氏のプロダクション（「タメシモールのルチア」、ヴェルディ「レクイエム」）にて、アシスタント経験もすることがあります。ぜひ、優秀者に選ばれ、アシスタントの経験を通して今後のキャリアアップにもつなげていきたいと考えています。



にもつながりたいと考えています。



私の想い

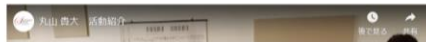
私の最大の目標はキースティンが望む首席奏者として、先して新国立劇場の首席奏者を兼任することです。しかし、私自身現場での実践経験やキャリアと呼ばれる社会的信用が足りておらず、卒業で夢に向かうためにも積極的に経験を積み、色々な人々との人脈を広げて、指揮者としての土壌を醸成するのには存り上げていく必要があると考えています。

指揮者の土壌という点において、1つ自分の新たな分野を見つけ、深く掘り下げる必要があると考えており、私にとって新たなレパートリーはイタリアオペラです。自分が外国人である特性（文化も外国から認識できる義務）も兼ねること、自分は外国人でありたいことも感じなければならぬ事業も受け入れ、トスカニーニなどの大イタリアオペラ指揮者と肩を並べられるような存在になるべく邁進いたします。

そして、ヨーロッパをヨーロッパ的にしている「何か」、言葉に表すことは難しい感覚なのですが、彼らが無意識のうちに体得している「何か」を学び取り、意識的に体感できるようになることを目指しています。

私の強みはイタリアでのコレペティートルとしての経験があること、アジア圏からの歌を歌うことに関してはイタリア人以上に言葉の発音やニュアンスを出すことに成功していると楽評も頂いている点であると考えており、良い基礎と結核の方向性に関しては自信があります。今後も数多くの実践経験を積んで、自分の認知と自覚できるようなたくまの体験を通して知らない世界を拓き、多様性も学びながら生涯成長していきます。冒さるからの道がいざ先達もお願いいたします。

活動紹介



ご寄付のお申込みについて

募集要項

「みんなの寄付」活動別集 寄付金募集要項

寄付方法

先に申し込みを済ませたうえで、お振り込みをお願いします。

▼ 寄付を申し込む (個別案件型)

▼ ホームページよりお申込みの方

「みんなの寄付 (助成型)」または「みんなの寄付 (個別案件型)」の専用申込フォームより必要事項をご記入の上、お申込みください。
※ 「みんなの寄付」への寄付ご希望の後、お知らせください。
※ 上記のフォームは (個別案件型) へのご寄付のお申込みとなります。(助成型) (個別案件型) によって寄付金の使途が変わってまいりますので申込フォームにおまちがないようご注意ください。

▼ 電話・メールでお申込みの方

